

環 境 係

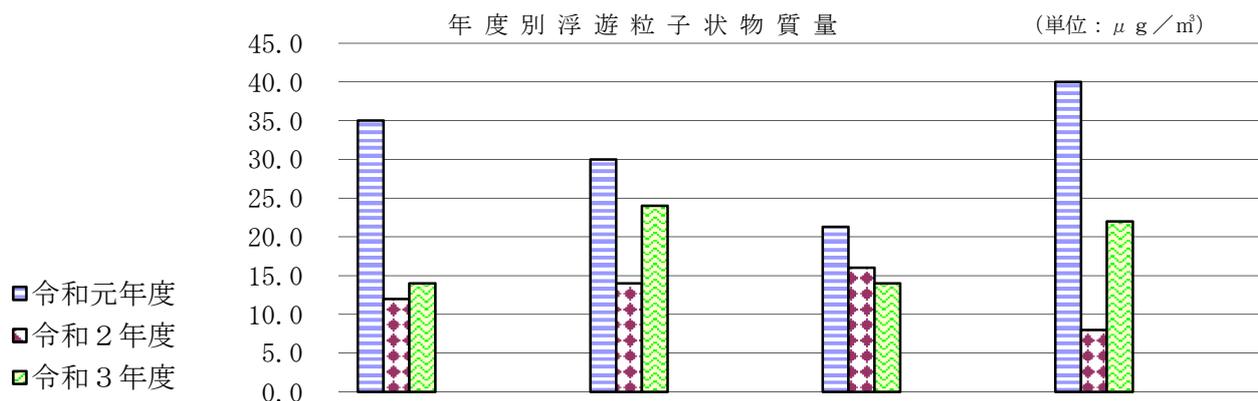
1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：令和4年2月15日から同月18日まで

調査地点：市内4か所

ア 浮遊粒子状物質



区分	市役所	武蔵野台児童館	市民会館	第二小学校
令和元年度	35.0	30.0	21.3	40.0
令和2年度	12.0	14.0	16.0	8.0
令和3年度	14.0	24.0	14.0	22.0

イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査項目	市役所		武蔵野台児童館		市民会館		第二小学校	
	令和3年度	前年度	令和3年度	前年度	令和3年度	前年度	令和3年度	前年度
鉛	0.004	0.002	0.004	0.003	0.004	0.005	0.004	0.002
マンガン	0.011	0.009	0.012	0.009	0.011	0.010	0.012	0.008
バナジウム	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
全クロム	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001

※ 数値は、1日平均の3日間平均の量である。

※ 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (μg (マイクログラム) は10万分の1g)

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：令和4年2月21日、令和4年2月24日

調査事業所数：2事業所（燃料使用量3000ℓ/日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(ℓ/日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(W t %)
			令和3年度	前年度	
A	特A	1,000	0.05未満	0.05未満	0.8
B	〃	—			
C	A	—			
D	〃	—			
E	〃	—			
F	〃	—			
G	〃	—			
H	特A	1,200	0.05未満	0.05未満	
I	A	—			
J	〃	—			
K	〃	—			

※ W t % : 質量パーセント、検出下限値0.05

(3) 二酸化窒素 (NO₂)

調査日：令和4年2月24日・25日

調査地点：市内12地点

(単位：ppm)

No	調査地点(交差点)	測定値		環境基準
		令和3年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.016	0.015	0.06
2	武蔵野橋南	0.016	0.019	
3	熊川内出	0.011	0.014	
4	第五ゲート前	0.012	0.017	
5	福生志茂南	0.011	0.013	
6	多摩橋北	0.012	0.011	
7	福生駅西	0.014	0.012	
8	福生加美	0.011	0.011	
9	福生加美平	0.011	0.012	
10	福生市役所前	0.014	0.012	
11	武蔵野台北	0.012	0.011	
12	第二ゲート前	0.020	0.023	

※ 数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

(単位：件)

地域 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
区 東部	0	0	0	0	1	0	0	1
区 北部	0	0	0	0	2	0	0	2
区 西部	0	0	1	0	2	0	0	3
区 南部	0	0	0	0	1	0	0	1
多摩北部	0	0	1	1	1	0	0	3
多摩中部	0	0	1	0	1	0	0	2
多摩西部	0	0	0	0	0	0	0	0
多摩南部	0	0	1	0	2	0	0	3
合計	0	0	4	1	10	0	0	15

※ 多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

2 水質調査

(1) 河川及び下水道（雨水管）

pH(水素イオン濃度) …酸性・アルカリ性の度合いの指標

BOD(生物化学的酸素要求量) …微生物に分解されやすい有機物量の目安

SS(浮遊物質量) …1 μ m以下のフィルターに残存する成分の量

ア 多摩川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	令和3年度	8.2	8.9	7.9	8.4	8.1	8.4	6.5~8.5
	令和2年度	7.3	6.9	8.2	7.9	6.7	7.6	
	令和元年度	7.4	8.4	8.1	7.1	7.1	7.4	
BOD	令和3年度	1.0	1.4	0.8	0.6	1.3	0.2	2mg/l
	令和2年度	0.7	0.5	0.2	0.5	ND	0.5	
	令和元年度	0.7	0.8	1.3	ND	0.3	1.7	
SS	令和3年度	1.0	2.0	1.5	ND	0.5	2.0	25mg/l
	令和2年度	1.0	25.5	4.0	ND	ND	ND	
	令和元年度	0.5	1.5	0.5	16.5	1.0	0.5	

イ 下の川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	令和3年度	7.6	8.3	7.7	8.2	8.2	8.3	6.5~8.5
	令和2年度	7.7	6.7	7.7	7.4	6.6	7.9	
	令和元年度	7.1	7.6	7.8	6.8	7.3	7.2	
BOD	令和3年度	1.1	1.4	0.6	0.6	1.1	1.0	2mg/l
	令和2年度	0.6	ND	0.5	0.1	0.3	0.4	
	令和元年度	0.4	0.7	0.8	ND	2.1	0.7	
SS	令和3年度	0.6	1.0	0.6	ND	ND	7.0	25mg/l
	令和2年度	1.6	2.6	3.3	40.0	ND	1.3	
	令和元年度	1.0	3.0	1.0	1.0	3.0	2.6	

ウ 都市下水路（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	令和3年度	8.1	8.2	7.6	8.3	8.3	9.3	5.8~8.6
	令和2年度	7.4	6.7	8.0	8.7	6.7	7.5	
	令和元年度	7.6	7.8	8.0	7.2	7.1	7.8	
BOD	令和3年度	1.3	1.2	ND	0.5	1.6	1.2	160mg/l
	令和2年度	0.5	ND	0.7	0.5	ND	0.5	
	令和元年度	0.5	0.8	1.1	0.5	0.8	0.5	
SS	令和3年度	ND	1.0	1.0	ND	3.0	1.0	200mg/l
	令和2年度	1.0	ND	ND	ND	ND	ND	
	令和元年度	ND	2.0	ND	3.0	1.0	ND	

エ 本町幹線（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	令和3年度	7.3	7.9	7.6	8.2	8.1	8.3	5.8~8.6
	令和2年度	7.0	6.7	7.6	8.5	6.3	7.0	
	令和元年度	7.4	8.0	8.1	7.2	7.2	7.7	
BOD	令和3年度	1.3	1.6	1.7	0.5	0.7	0.9	160mg/l
	令和2年度	1.4	0.9	1.0	7.3	2.9	1.0	
	令和元年度	1.8	0.9	1.4	0.6	0.9	3.8	
SS	令和3年度	3.0	19.0	9.0	ND	ND	6.0	200mg/l
	令和2年度	3.0	3.0	2.0	10.0	ND	2.0	
	令和元年度	4.0	2.0	1.0	11.0	2.0	4.0	

※ 都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ ND：定量下限値未満

※ 平成27年度より、定量下限値未満についてはNDに表記を統一

(2) 多摩川合同採水

採 水 年 度		令和3年度		令和2年度	
採 水 月 日		6. 3 (木)	11. 4 (木)	6. 11 (木)	11. 5 (木)
採 水 時 間		午前11時30分		午前11時30分	
流量	m ³ /sec	1.4	2.3	4.9	2.4
気温	℃	28.0	18.9	31.0	17.0
水温	℃	22.5	18.2	26.9	15.0
外観		無色透明	無色透明	無色透明	無色透明
臭気		無臭	無臭	無臭	無臭
透視度	cm	>100.0	>100.0	>100.0	>100.0
pH (水素イオン濃度)		8.9	8.2	8.3	8.8
DO (溶存酸素)	mg/l	11.2	14.0	11.7	13.4
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/l	1.3	0.8	2.4	0.6
COD (化学的酸素要求量)	mg/l	1.6	1.2	1.5	0.7
SS (浮遊物質)	mg/l	2	<1	3	<1
T-CN (シアン化合物)	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
Pb (鉛)	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
NH ₄ -N (アンモニア性窒素)	mg/l	0.01	0.02	<0.01	<0.01
T-N (全窒素)	mg/l	0.53	0.74	0.56	0.90
PO ₄ -P (リン酸性リン)	mg/l	0.004	<0.003	<0.003	<0.003
T-P (全リン)	mg/l	0.006	0.004	0.008	0.004
MBAS (陰イオン界面活性剤)	mg/l	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジクロロメタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
四塩化炭素	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1-ジクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
トリクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
テトラクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 3-ジクロロプロペン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ベンゼン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
セレン	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
大腸菌群数	MPN/100ml	49	3300	33	23
カドミウム	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
六価クロム	mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ヒ素	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
総水銀	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
PCB	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
1, 4-ジオキサン	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	0.43	0.69	0.42	0.73
全亜鉛	mg/l	0.004	0.006	0.003	0.001
ノニルフェノール	mg/l	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
環 境 基 準		水域類型A		水域類型A	

(3) 地下水

測定日：令和3年8月23日

検査項目	測定地点	測定地点										基準値
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	3.8	3.6	3.2	1.8	3.4	2.2	3.6	4.7	1.4	5.8	10以下
塩化物イオン	mg/l	14	4.5	2.5	4.9	2.7	3.1	4.8	6.5	2.1	5.8	200以下
有機物(TOCの量)	mg/l	<0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.5	<0.3	0.4	<0.3	<0.3	3以下
一般細菌	個/ml	0	22	5	110	15	120	3	0	4	44	100以下
大腸菌群数		不検出	検出されないこと									
鉄	mg/l	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.3以下
マンガン	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.050	<0.005	<0.005	0.05以下
pH(水素イオン濃度)		7.1	7.0	6.9	7.1	6.8	6.8	6.8	6.9	6.7	7.0	5.8~8.6
臭気		異常なし	検出されないこと									
味		異常なし	検出されないこと									
色度		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	5度以下
濁度		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	2度以下
トリクロロエチレン	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/l	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ 平成19年度より過マンガン酸カリウム消費量を有機物と表記する。

※ 地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：令和3年9月15日

(単位：mg/l [pHと水温を除く。])

検査項目	測定地点	A工場		基準値
		令和3年度	前年度	
pH(水素イオン濃度)		9.8	8.5	5.8~8.6
pH測定時水温		20.2	23.4℃	40℃以下
BOD(生物学的酸素要求量)		2.7	2.6	160
COD(化学的酸素要求量)		11.0	6.2	160
SS(浮遊物質)		25	8	200
カドミウム及びその化合物		<0.003	<0.003	0.03
鉛及びその化合物		<0.01	<0.01	0.1
水銀、メチル水銀及びその化合物		<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量		<0.05	<0.05	3
亜鉛含有量		0.07	<0.05	2
溶解性鉄含有量		0.09	0.07	10

※ 基準値を超えているものには、色付けをしている。

(5) 雨水管（横田基地流入分）

測定日 令和3年7月2日

項目	単位	多摩橋通り		五日市街道		武蔵野幹線		排水基準
		7月	3月	7月	3月	7月	3月	
pH（水素イオン濃度）		7.6		7.4		7.3		5.8～8.6
BOD（生物化学的酸素要求量）	mg/ℓ	1.4		1.4		2.2		160mg/ℓ
SS（浮遊物質）	mg/ℓ	17		13		18		200mg/ℓ
ノルマルヘキサン抽出物	mg/ℓ	<1		<1		<1		30mg/ℓ
フェノール類	mg/ℓ	<0.005		<0.005		<0.005		5mg/ℓ
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	<0.1		<0.1		<0.1		※
六価クロム	mg/ℓ	<0.01		<0.01		<0.01		0.5mg/ℓ
鉛及びその化合物	mg/ℓ	<0.005		<0.005		<0.005		0.1mg/ℓ
カドミウム及びその化合物	mg/ℓ	<0.001		<0.001		<0.001		0.03mg/ℓ
総水銀化合物	mg/ℓ	<0.0005		<0.0005		<0.0005		0.005mg/ℓ
アンモニア性窒素	mg/ℓ	0.01		<0.01		0.01		100mg/ℓ
リン酸性リン	mg/ℓ	<0.003		0.018		0.016		※
陰イオン界面活性剤	mg/ℓ	<0.02		<0.02		0.03		※
有機リン化合物	mg/ℓ	<0.1		<0.1		<0.1		1mg/ℓ
有機物（TOCの量）	mg/ℓ	0.5		0.6		1.1		※
セレン及びその化合物	mg/ℓ	<0.001		<0.001		<0.001		0.1mg/ℓ
ヒ素及びその化合物	mg/ℓ	<0.001		<0.001		<0.001		0.1mg/ℓ
全リン	mg/ℓ	0.023		0.050		0.053		16mg/ℓ
シアン化合物	mg/ℓ	不検出		不検出		不検出		1mg/ℓ

※は排水基準の設定なし

※年2回の調査予定（6月、3月）であったが、3月の採水は天候の関係上分析を行うのに十分な水量が得られなかったため、欠測とした。

3 騒音調査

(1) 自動車交通量・騒音・振動調査

ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	令和3年 11月17日 ～18日	令和3年 11月17日 ～18日	令和3年 11月17日 ～18日	令和3年 11月17日 ～18日	令和3年 11月17日 ～18日
昼間 上り	21,408	9,024	6,624	4,128	8,064
昼間 下り	24,288	8,448	6,720	3,840	5,952
夜間 上り	3,504	768	768	288	1,920
夜間 下り	3,264	720	1,152	528	1,104
合計	52,464	18,960	15,264	8,784	17,040
前年度合計	55,440	18,624	15,072	9,168	15,792

※ 都心方面を上り、逆を下りとする。

イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	令和3年 11月15日～18日の うち3日間	令和3年 11月15日～18日の うち3日間	令和3年 11月15日～18日の うち3日間	令和3年 11月15日～18日の うち3日間	令和3年 11月15日～18日の うち3日間	
騒音 (Leq)	昼間	73	67	68	67	67
	前年度	74	67	67	66	68
	夜間	74	65	64	61	65
	前年度	74	65	64	60	65
環境基準値	昼間	70				
	夜間	65				
要請限度	昼間	75				
	夜間	70				

※ Leq = 等価騒音レベル

ウ 振 動

(単位：デシベル＝dB)

道 路 通 称		国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測 定 場 所		横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先
用 途 地 域		近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車 線 数		4	4	2	2	2
測 定 日		令和3年 11月15日12時 ～16日12時	令和3年 11月15日12時 ～16日12時	令和3年 11月15日12時 ～16日12時	令和3年 11月15日12時 ～16日12時	令和3年 11月15日12時 ～16日12時
振 動 (L 1 0)	昼 間	42	30	29	25	53
	前 年 度	44	30	28	25	52
	夜 間	45	26	27	25	48
	前 年 度	46	26	27	25	48
要 請 限 度	昼 間	70	65	70	65	70
	夜 間	65	60	65	60	65

(2) 自動車騒音面的評価

市内でセンサス区間（自動車の運行に伴う騒音の影響が概ね一定とみなせる区間）に指定されている幹線道路20か所（1か所は毎年）の自動車騒音調査を5か年以内に全て行い評価する。（平成24年度から実施）

環境基準値	昼間	70	※幹線交通を担う道路に近接する空間に関する基準値
	夜間	65	

番号	道路名 (調査場所)	センサス 番号	基準点騒音 レベル(dB)		残留騒音レベ ル(dB)		達成率(%)		達成戸数(戸)		全戸数 (戸)
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
1	国道16号 (福生市熊川1148-3)	15140	75	74	42	39	73.2	55.8	464	354	634
2	立川青梅線 (福生市熊川711-3)	41360	63	58	37	33	100	100	346	346	346
3	立川青梅線 (福生市加美平3-39)	41380-1	66	61	40	33	99.8	99.8	497	497	498
4	伊奈福生線 (福生市福生656-1)	61120-1	65	60	38	33	99.1	98.7	786	783	793
5	杉並あきる野線 (福生市熊川1633)	41370-1	67	65	36	36	100	100	415	415	415
6	立川青梅線 (福生市福生1211)	41450-1	67.5	61.5	35	26	99	99	101	101	102
		41450-2	69	63	35	26	98.6	98.6	210	210	213
7	瑞穂あきる野八王子線 (福生市福生1027-14)	61170-1	59.7	52.7	39	37	100	100	85	85	85
		61170-2	57.3	50.3	39	37	98.8	96.3	161	157	163
8	昭島停車場熊川線 (福生市熊川1566-4)	62240-1	69.5	65.5	46	41	-	-	0	0	0
9	国道16号 (福生市福生2034-3)	15150-1	75	74	48	39	67	46.9	140	98	209
10	杉並あきる野線 (福生市熊川307)	40510-1	67	64	43	36	100	99.7	390	389	390
11	立川青梅線 (福生市牛浜25)	41560-1	67	60	37	32	99.8	99.8	585	585	586
12	瑞穂あきる野八王子線 (福生市本町1)	61250-1	59	51	43	38	100	100	278	278	278
13	国道16号 (福生市熊川456-1)	15130-1	56	53	43	42	100	97.9	192	188	192
14	立川青梅線 (福生市志茂208)	41490-1	68	65	41	36	99.9	99.5	751	748	752
15	立川青梅線 (福生市熊川139)	41540-1	66	60	37	33	100	100	151	151	151
16	瑞穂あきる野八王子線 (福生市志茂229)	61260-1	63	60	37	34	100	99.7	342	341	342
17	杉並あきる野線 (福生市北田園1丁目12)	40440	65	60	38	33	85.7	80.2	852	797	994
18	立川青梅線 (福生市熊川204)	41470	70	65	36	35	96.3	96.3	207	207	215
19	立川青梅線 (福生市福生549-1)	41590	66	61	38	33	57.8	53.3	52	48	90
20	福生青梅線 (福生市武蔵野台1丁目16)	62840	65	59	39	30	93.6	90	761	732	813

※番号1は優先的対策道路区間として毎年評価を行う。

※平成29年度に実施した測定については、適正な測定結果が得られなかったため、欠測とする。

- 測定日時① 令和3年11月17日(水)正午から11月18日(木)正午まで(番号1から番号5まで)
- 測定日時② 令和2年11月18日(水)正午から11月19日(木)正午まで(番号17から番号20まで)
- 測定日時③ 令和元年6月13日(木)正午から6月14日(金)正午まで(番号13から番号16まで)
- 測定日時④ 平成30年6月28日(木)正午から6月29日(金)正午まで(番号9から番号12まで)
- 測定日時⑤ 平成28年7月7日(木)正午から7月8日(金)正午まで(番号6から番号8まで)

(3) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

月	測定回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル (dB)	時間帯補正等 価騒音レベル (dB) ※
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	1,571	1,157	399	15	112	65
5	1,236	903	316	17	109	63
6	925	738	177	10	103	61
7	894	654	203	37	114	67
8	966	762	186	18	113	62
9	867	733	125	9	106	62
10	959	693	247	19	117	66
11	1,089	809	259	21	112	64
12	820	738	61	21	113	62
4年1	1,229	890	325	14	103	63
2	1,045	759	265	21	113	64
3	1,116	794	300	22	103	63
合計	12,717	9,630	2,863	224		
前年度合計	15,375	11,618	3,553	204		
月平均	1,060	803	239	19	112	64

※ dB : デシベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	測定回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル (dB)	時間帯補正等 価騒音レベル (dB) ※
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	325	194	131	0	86	47
5	190	121	68	1	87	45
6	138	115	23	0	84	41
7	111	61	50	0	84	41
8	101	61	39	1	87	42
9	166	124	42	0	85	43
10	179	94	82	3	100	48
11	262	186	65	11	89	48
12	135	108	20	7	92	45
4年1	211	108	89	14	86	48
2	225	140	82	3	99	49
3	210	133	77	0	89	45
合計	2,253	1,445	768	40		
前年度合計	2,399	1,566	831	2		
月平均	188	120	64	3	93	45

※ dB : デシベル

※時間帯補正等価騒音レベル (Lden) : 平成25年4月1日から航空機騒音の評価指標となったもので、影響が大きいとされる夕方と夜間の騒音に重み付けをして補正した値を、1日24時間で平均することで算出する。航空機の離着陸などに伴い発生する「飛行騒音」に加え、航空機が滑走路・誘導路上を移動する際の騒音やエンジンテストによる騒音等の地上騒音も測定・評価の対象となる。

(4) 環境騒音調査 市内29地点 (46か所)

測定日：令和4年3月4日(金)から同月11日(金)まで【昼間】

No	測定地点		騒音の大きさ (dB)		環境基準	支配音
	用途地域	道路との関係	等価騒音レベル(L _{eq})			
			令和3年度	前年度		
1	準工業	一般地域	54	54	60	一般音
2	準工業	一般地域	49	49	60	〃
3	第1種住居	沿道	64	66	70	自動車音
	第1種低層	後背地	49	47	55	〃
4	近隣商業	沿道	67	66	70	〃
	近隣商業	後背地	55	54	60	〃
5	第1種低層	一般地域	46	46	55	自然音
6	第1種住居	沿道	69	70	70	自動車音
	第1種低層	後背地	49	46	55	〃
7	近隣商業	沿道	76	75	70	〃
	第1種低層	後背地	54	54	55	〃
8	第2種低層	沿道	64	64	60	〃
	第1種低層	後背地	56	56	55	〃
9	第1種中高層	沿道	64	65	65	〃
	第1種低層	後背地	49	50	55	〃
10	第1種低層	後背地	49	48	55	一般音
	第1種中高層	沿道	61	59	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	63	65	70	〃
	第1種低層	後背地	48	47	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	53	54	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	55	54	60	〃
14	近隣商業	一般地域	51	52	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	52	51	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	76	75	70	〃
	第1種低層	後背地	54	51	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	49	51	55	〃
18	近隣商業	沿道	66	65	70	自動車音
	近隣商業	後背地	54	57	60	〃
19	第1種低層	一般地域	47	51	55	〃
20	第2種中高層	沿道	62	64	70	〃
	第1種中高層	後背地	47	51	55	一般音
21	商業	一般地域	60	63	65	自動車音
22A	商業	一般地域	59	60	65	〃
22B	商業	沿道	61	62	70	〃
	第2種低層	後背地	54	52	55	〃
23	第1種中高層	沿道	66	65	60	〃
	第1種低層	後背地	49	49	55	〃
24	準工業	一般地域	43	48	65	一般音
25	近隣商業	沿道	62	63	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	47	46	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	43	42	60	〃
27	工業	沿道	64	66	70	自動車音
	工業	後背地	46	50	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	46	44	60	〃
29	第1種住居	沿道	64	64	70	自動車音
	第1種住居	後背地	51	50	55	〃

※ 後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	4年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	4	2
アスベスト相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 質 汚 濁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土 壌 汚 染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音 ・ 振 動	0	2	5	5	0	2	4	1	0	0	1	1	21	28
低 周 波 音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
航 空 機 騒 音	7	9	2	11	3	7	18	6	6	6	7	8	90	135
地 盤 沈 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	3	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	8	10
雑 草	6	6	7	4	4	4	1	1	2	0	0	2	37	42
そ の 他	2	5	4	5	7	5	8	3	2	4	1	7	53	55
合 計	18	22	18	25	15	19	35	11	11	11	10	18	213	272

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	令和 3年度	前年度	区 分	令和 3年度	前年度
工 場 設 置 認 可	0	0	指 定 作 業 場 設 置 届	4	1
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	0
工 場 変 更 認 可	0	1	指 定 作 業 場 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	0	1
工 場 変 更 認 定	0	1	指 定 作 業 場 廃 止 届	1	1
工 場 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	1	4	特 定 施 設 設 置 届	0	1
工 場 廃 止 届	0	1	特 定 施 設 変 更 届	0	1
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	0	6
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	16	15	特 定 建 設 作 業 実 施 届	16	23
建築物の解体に係るアスベスト対策に関する届出	1	10			

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	令和 3年度	前年度	区 分	令和 3年度	前年度
工 場 認 可 関 係	0	1	苦 情 処 理	221	236
指 定 作 業 場 届 出 関 係	1	0	各 種 測 定	168	171
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	1	3			

5 環境行政・環境学習の推進

(1) 福生環境市民会議等

ア 福生地域ネコの会

令和3年度定例会議 3回開催

イ かんきょう通信編集会議

環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行

第50号 1回開催

※例年は3回程度開催しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
参集による開催は1回とし、電話、メール及び郵送により編集作業を実施した。

ウ ふっさ花とみどりの会

定例会議 5回開催

花いっぱい運動(春・秋) やなぎ通り・国道16号 2か所 2回

多摩川中央公園フラワーズゾーン花壇管理(除草・植栽・採種等) 13回

※春と秋の年2回実施を予定していた花いっぱいコンテストは、新型コロナウイルス感染症拡大
防止のため中止した。

エ ふっさ環境市民会議

定例会議 5回開催(うち書面開催3回)

福生打ち水日和 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(打ち水に関する展示の実施) 内容: ・手ぬぐいの配布

・夏の省エネ資料の配布

・市役所訪問者への打ち水の呼びかけ

環境マップづくりに係る会議 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

環境学習講座「持続可能な多摩の森林整備とその課題～子供たちに伝えていきたい東京の森～」

1回開催(ふっさ環境フェスティバル期間)

展示「市民団体による環境活動の紹介」 1回開催(ふっさ環境フェスティバル期間)

環境と共生のまちづくりセミナー 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

地球温暖化防止月間キャンペーン 1回開催

地球温暖化防止月間セミナー 脱炭素社会に向けた地域・私たちの活動[気候変動と災害の危
機]～地球温暖化対策と省エネへの取組～ 1回開催

(2) 福生市環境審議会

令和3年8月(書面開催)

- ・福生市環境基本計画実行計画(令和2年度計画)進捗状況について
- ・福生市環境基本計画実行計画(令和3年度計画)について

(3) ふっさ環境フェスティバル

環境問題に対する認識を深め意識の醸成を図ることを目的に、市民参加型のイベントを計画した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の来場型イベントの代わりに、まちなか全体を会場とした新しい環境フェスティバルを開催した。

開催期間 環境省が規定する環境月間である6月の1か月間

参加団体 88団体（一般、事業者、官公庁）

（うち、実行委員 16団体、一般参加 72団体）

- 内 容
- ① 「私たちの環境配慮」&「環フェスステッカー」の掲示
 - ② SNS（YouTube・Facebook・Instagram）を活用した環境情報の発信
 - ・YouTube 掲載数 9本
 - ・Facebook 投稿件数 42件
 - ・Instagram 投稿件数 22件
 - ③ 環フェスマップの作成（3,000部）
 - ④ 環フェスクイズの実施
 - ・回答数【チラシ&WEB版】103名
 - ⑤ 環境スポット紹介（環フェスマップ&市ホームページ）
 - ⑥ ゴーヤの苗、球根（チューリップ）の配布
 - ⑦ パネル展示
 - ⑧ フードドライブ、ぬいぐるみ回収
 - ⑨ 環境学習講座等の実施
 - ⑩ 市民団体による環境活動PR

(4) 福生水辺の楽校“多摩川で遊ぼう”全10回

第1回	4/11	バードウォッチング&ごみ拾い	(12人、11人、9人)
第2回	6/13	多摩川の魚を見つけよう	(35人、31人、9人)
第3・4回	7/11	誰でもできる簡単釣り体験 (午前・午後)	(川の増水により中止)
第5回	8/9	いかだで冒険、多摩川で泳ごう	(緊急事態宣言のため中止)
第6回	9/12	多摩川の魚を見つけよう	(緊急事態宣言のため中止)
第7回	10/10	バッタをゲット	(17人、18人、6人)
第8回	11/14	バードウォッチング&ごみ拾い	(8人、10人、9人)
第9回	12/12	クリスマスリースを作ろう	(12人、10人、6人)
第10回	1/9	手作り凧あげ	(15人、15人、6人)
		計	(99人、95人、45人)
		合計	239人

※（ ）内の参加人数は子ども、保護者、スタッフの順で表示

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全10回の活動を計画

(参考 令和2年度 全9回)

(5) 福生水辺の楽校“多摩川サポーターズ”全2回

第1回	5/9	水生生物をつかまえて水質をしらべよう	(緊急事態宣言のため中止)
第2回	8/9	いかだを作ろう	(緊急事態宣言のため中止)
		合計	0人

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全2回の活動を計画

(参考 令和2年度 全3回)

(6) 小中学校における多摩川の総合学習支援

市内の小中学校が多摩川を題材とした総合的な学習の時間において行う体験活動に対し、資器材、教材の提供及び専門的な講師を派遣した。小学校7校からの依頼により、計28回の学習支援を行った。

内 容 植物昆虫観察、野鳥観察、水生生物観察など

参加人数 延べ1,600人

派遣講師 延べ40人

(7) 川の志民館利用者数

利用者数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
50人	-	7人	4人	-	-	26人
11月	12月	4年1月	2月	3月	合計	前年度
61人	50人	47人	-	9人	254人	721人

※開館日数：44日（土・日曜日）

※イベント（福生水辺の楽校）参加者も含む。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/24から6/20まで、7/17から9/26まで及び1/22から3/20までの土・日曜日及び小・中学校夏休み期間は休館

(8) 環境学習教員研修

第1回 8/19 「フィールドで学ぶ

～水質調査、生物調査、川の安全学習～」 （緊急事態宣言のため中止）

第2回 8/20 「福生の自然の変遷～フィールドワーク

（旧ヤマジュウ田村家住宅、田村酒造）～」 （緊急事態宣言のため中止）

合計 0人

(9) 環境学習講座

市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とする全1回の環境学習講座を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

第1回 10/9 施設見学

(中止)

合計 0人

(10) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
31匹	47匹	78匹

6 地球温暖化対策

(1) サイクルシェアリング

実証実験を踏まえ、ガソリン使用自動車からの乗換えによる地球温暖化対策、市内の回遊性の向上等を目的に、平成26年度からサイクルシェアリング事業として本格実施を開始した。平成27年度には、福祉センター駐車場内にステーションを1箇所増設し、計5箇所に拡充して運用を行ってきたが、設備の老朽化等により適切な運用が難しいことから、シェアリング利用を令和3年12月末日、一時利用を令和4年3月末日にそれぞれ終了させた。

《実績》

会員数		令和3年度	令和2年度	令和元年度	
		1,053名	980名	886名	
収入	シェアリング利用	163,750円	270,150円	228,150円	
	一時利用	68,600円	76,000円	126,700円	
	合計	232,350円	346,150円	354,850円	
シェアリング 利用回数	くるみる ふっさ	貸出	651回	909回	801回
		返却	480回	843回	733回
	福生駅西口	貸出	269回	301回	341回
		返却	308回	396回	345回
	牛浜駅東口	貸出	433回	640回	777回
		返却	459回	622回	826回
	拝島駅北口	貸出	416回	724回	627回
		返却	452回	726回	638回
	福祉センター	貸出	595回	747回	1,032回
		返却	665回	734回	1,036回
	合計		2,364回	3,321回	3,578回
	一時利用回数		115回	124回	207回

(2) 福生スクラム・マイナス50%協議会

令和4年1月19日（書面開催）

- ・令和3年度事業について（中間報告）
- ・令和4年度事業計画（案）及び予算（案）について

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会を書面で開催した。

(3) 普及啓発等事業の実施について

- ア ふっさライトダウンキャンペーン2021（2回）
- イ みどりのカーテン大作戦（参加28件）

7 環境マネジメントシステムの運用

平成 20 年度から福生市環境マネジメントシステムとして『環境自治体スタンダード (LAS-E)』を運用。平成 26 年度から LAS-E の仕組みを土台として独自の環境マネジメントシステムを構築し、名称を福生市環境マネジメントシステム (Fussa environmental management system: 略称 F-e) として運用を開始し、地球温暖化対策の推進を図った。

令和 3 年度から運用方法・推進体制や監査対象・監査方法の見直しを行ったほか、目標値を再定義し、想定値を導入することとした。

(1) 環境監査及び優良取組選定

これまでの監査を、取組状況や運用状況の点検を行う「環境監査」と、水平展開が望まれる良い取組の選定を行う「優良取組選定」として整理して実施した。

日 程	対 象	内 容
令和 4 年 2 月 3 日、2 月 7 日 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面とリモートで実施)	環境監査:施設所管課 など 11 部署・施設 優良取組選定: 6 部署・施設	業務における環境面で特に重視している事柄や環境行動推進徹底のための取組について確認

(2) 推進組織会議等

区 分	開催回数	主 な 議 事 内 容
環境推進委員会	3 回	令和 2 年度実績の検証と 3 年度方針、F-e 運用方法の変更・改善点について、第 3 次福生市地球温暖化対策実行計画における目標達成状況について、目標設定、監査等について
目標設定チーム会議	1 回	令和 3 年度における目標設定について
環境マネージャー会議	2 回 (うち 1 回は書面開催)	令和 2 年度実績の検証、F-e 運用方法の変更・改善点について、第 3 次福生市地球温暖化対策実行計画における目標達成状況について、監査等について
監査チーム会議	3 回 (うち 1 回は書面開催)	F-e 運用方法の変更・改善点について、監査の実施方法の確認、環境監査等報告書及び環境監査等実施アンケートの内容確認

(3) 研修活動の実施

研 修 名	日 程	対 象	内 容
新任研修	令和 3 年 4 月 2 日 (1 回)	令和 3 年度新規採用職員等	環境マネジメントシステム全般及び具体的な取組について説明
職員個人調査	令和 3 年 11 月中旬から 12 月上旬まで	課長職以下の全職員	職員の環境配慮等に係る「正誤テスト」、「意識調査」の 2 種類の設問による調査の回答
職員研修	令和 3 年 10 月 20 日、10 月 26 日	実行責任者(課長、指定管理施設を含む施設長、学校長)及び F-e に係る実績報告等を行う実務担当者	地球温暖化対策の現状と必要性、F-e 運用方法の変更・改善点と取組方法

8 外来生物防除事業

アライグマ、ハクビシン及びクビアカツヤカミキリの市内における生息・被害状況の把握及び防除による自然環境や生態系の保全、農産物被害、感染被害等を未然に防止することを目的として、市、事業者、市民等関係者の協働により、捕獲、防除等を実施した。

(1) アライグマ・ハクビシン

特定外来生物であるアライグマ及び外来生物であるハクビシンの捕獲、防除等を実施した。平成30年度より、定点での捕獲の他に個別対応の捕獲を行っている。

種名	目撃情報	捕獲防除実績
アライグマ	10件	34頭
ハクビシン	23件	16頭
合計	33件	50頭

(2) クビアカツヤカミキリ

特定外来生物であるクビアカツヤカミキリの捕獲、防除等を実施した。国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所と試験地提供に関する覚書を締結し、専門的な見地から調査及び効果的な防除を実施した。

- ・被害樹木への防除ネット設置 7か所
- ・被害樹木の見回り 60日
- ・被害樹木への薬剤散布 47本
- ・森林総合研究所による生息・被害状況調査の実施 7日

※8月に実施を予定していたクビアカツヤカミキリ防除に関する市民説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

9 緑化推進事業（花いっぱい運動）

(1) 草花の苗配布（町会・自治会・学校・公共施設等）

苗の種類	配布数
サルビア・ペチュニア	14,400株
マリーゴールド	15,600株
パンジー・ビオラ	27,500株
葉ボタン	6,500株
合計	64,000株

(2) プランター等植栽事業

植栽地	内容
やなぎ通りプランター	(春) ポーチュラカ 660株
	(秋) パンジー 656株
	(秋) ノースポール 224株
国道16号線ハナミズキ植樹ます	(春) ポーチュラカ 416株
	(秋) ビオラ 416株

10 緑化保存事業

(1) 保存樹林地

種 別	件 数	筆 数	面 積
宅地介在山林	3件	5筆	1,700.00 m ²
一般山林	2件	3筆	669.00 m ²
合 計	5件	8筆	2,369.00 m ²

(2) 保存樹木

件 数	本 数
31件	153本

(3) 保存生垣

件 数	箇所数	延 長
123件	129 箇所	2,463m